

# 希望胸に577人が仲間入り 南東北グループ合同入社式

南東北グループの平成29年度合同入社式は、3月26日(日)午前10時から郡山市の総合南東北病院NABEホールで行われ、県内外7法人の20施設に昨年より54人多い過去最多の577人が入社、医療・福祉人として第一歩を踏み出しました。

新入職員は、総合南東北病院の157人(医師34人)など県内194人、宮城県29人、青森県16人、首都圏が総合東京病院の211人(同12人)など338人。全体で医師・歯科医師は72人、医師以外の医療スタッフ469人、事務職35人、保育士1人などです。



貞義副理事長から辞令を受ける村上陽子線センター長

合同入社式には県内外病院・施設の新入職員や役員代表ら250人が出席。渡邊貞義脳神経疾患研究所副理事長が、村上昌雄南東北がん陽子線治療センター長ら医師一人ひとりに、一般職員は高田美保子さん(総合南東北病院保健師)ら職種ごとの代表に辞令を交付しました。これに対し医師、一般職員がそれぞれ病院人・福祉人としての心得を斉唱し、医療や福祉に携わる誓いの言葉を述べました。



誓いの言葉を述べる渡邊理沙 研修医ら医師たち

職員紹介に続き、渡邊一夫南東北グループ総長が、現在治療中の世界の病院で初めてのBNCTなど活発な事業を展開しているグループの現状を紹介しながら講和し「皆さんと一緒に、すべては患者さんのために、力を合わせて頑張りたい」と激励しました。

首都圏の合同入社式は4月1日(土)午前10時45分から完成したばかりの総合東京病院新



テープカットする渡邊総長(中央) 貞義副理事長(その右)ら関係者

## 救急医療充実し451床へ

一昨年から東京都中野区江古田に建設中だった南東北グループ健康会の総合東京病院新棟が完成し4月1日(土)午前10時から同病院で新棟開設記念式を行い、完成と東京都西部の中核医療機関としての再出発を祝い合いました。



完成した総合東京病院の新棟

棟S T R東京ホールで行われ、約200人の新入職員が出席。渡邊貞義健康会理事長から辞令を受け、医療人・福祉人の仲間入りをしました。

来賓の瀬尾浩司みずほ銀行郡山支店長が祝辞を述べた後新入職員が誓いの言葉を述べ、決意を披露。渡邊一夫南東北グループ総長が講和、新入職員たちの門出を祝福しました。

た新棟は鉄骨造り地下1階・地上5階建て(延べ床面積約1万3600㎡)。地下1階はリニアックを備えた放射線治療センター、地上1階は救急治療センターと脳神経センター、2階はインターベンションセンターを併設した心臓血管外科センター、3〜5階は回復期リハビリテーション病棟で病床は451床に増床されます。

救急治療センターでは小児初期救急も行うほか中野区の委託を受け病児・病後保育も行う予定。同病院の北隣には同グループの「江古田の森」もあり、小児から急性期―回復期―施設介護―在宅介護まで一貫したサービスが可能となるだけに中野・練馬両区住民から期待されています。